



佐和田

ありがとう3年生



お世話になった3年生の門出を祝い、3月3日(金)佐和田中学校で「キャンドルサービス」が行われました。暗幕を張った体育館で全校生徒が手にしたキャンドルに思いを託し卒業生は3年間の思いを偲んでいました。「火の守」に扮した先生からはなむけの言葉が送られると、卒業生からは中学校生活の思い出と感謝の言葉が述べられました。感動的なキャンドルサービスも素晴らしい思い出のひとつになったことでしょう。3月9日には卒業式が行われ、卒業生は希望を胸に巣立っていきました。

佐和田

こども安全パトロール発足式

3月4日(土)佐渡中央会館を会場に、ボランティア他関係者約70人が出席して、こども安全パトロール発足式が開催されました。

子供達が悲惨な事件に遭遇し、大切な命を絶たれる事件が発生しており、これらの事件を契機に、小中学校の保護者を中心とした通学路のパトロールや、危険箇所の点検が行われています。しかし、子供達を取り巻く社会環境の変化を考えると、地域を上げて、子供達の安全を守ることが大切です。

佐和田地区では、愛犬の散歩や、ウォーキング、ジョギング等を兼ねて、通学路をパトロールしていただくボランティアを募集していますが、80余名の皆さんの協力が得られることとなり、発足式を開催しました。

ボランティアの皆さんには、黄色の帽子と腕章が支給され、「地域の子どもは、地域で守り育てる。」ことを合言葉に、この活動の輪を広め、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しようと言いました。



赤泊

島に春の訪れを告げるむら芝居 *創作民話劇『人魚の涙』*



赤泊演劇研究会主催による春の定期公演が、3月5日赤泊総合文化会館で行われました。今回の公演は佐渡市合併も

受けて、題材を赤泊地区外に求め、羽茂地区の「八百比丘尼」伝説より、創作民話劇「人魚の涙」を「はもち桜組」の特別出演もあわせ総勢130名のスタッフ・出演者で演じました。

悲しい場面では場内はしんと静まり、楽しい場面では笑いながら、昼夜の二回公演で、約400人が「むら芝居」を楽しみました。今回は、夕食も自分達で賄い、まさに「手作り」の公演となりました。



両津

海藻を通して佐渡をPR (両尾小学生による「海藻PR大作戦」)



3月10日(金)、佐渡汽船ターミナル切符売場前で、両尾小学校4年生児童11名が「海藻PR大作戦」を行いました。

児童達は、自ら考案した「海藻音頭」で注目を集め、手作りの「海藻新聞」や「海藻料理レシピ」などを配布したり、また海藻についてのアンケートを行うなどして、観光客へ海藻を積極的にPRしました。

児童達の一生懸命な姿は、海藻に対する熱い情熱を伝えることができたはずですし、彼らの活動により、海藻を求め佐渡へ来る観光客が増えることを願っています。



新 第21回 穂 佐渡朱鷺健康マラソン大会

3月12日(日)に行われた佐渡朱鷺健康マラソン大会は、佐渡の厳しい冬で下降気味になる意思や体力を持続させる目標となり、また、強豪ランナーと競える絶好の機会ですが、今大会は稀にみる最悪の天候にみまわれました。

強風が吹き、雨と雪が降りしきる中、沿道には選手を応援する沢山の方が取り囲み、それに応えるかのように頬や手足を真っ赤に染めた338名の選手がベストを尽くしました。ゴールした選手は、ライバルと互いの健闘をたたえ合い、振舞われた豚汁で凍えきった身体を温めました。

優勝者

- 10kmの部 本間 翔太さん (両津高校)
- 5km男子の部 白瀬 理光さん (相川高校)
- 5km女子の部 加藤 宏子さん (佐渡高校)
- 3kmの部 岩 春采さん (相川中学校)



赤 赤泊城の山公園展望施設に 泊 大相撲優勝額を展示



赤泊港を望む城の山公園展望施設ロビーに、大相撲横綱曙関の優勝額が展示されました。平成7年春場所優勝を表彰し両国国技館に掲額していたもので、縦317cm、横228cmの大きさです。日本海上大相撲を通じ縁のある東関部屋関係者より赤泊演劇研究会が譲り受け、佐渡市へ寄付されたものです。3月12日(日)に展示される展望施設ロビーで関係者により贈呈式が行われました。赤泊を訪れた際は、城の山展望施設へお立ち寄りになり、本物の優勝額をご覧ください。

真 ヒラメまつり 野



3月12日(日)、真野活性化センターいぶき21を会場に「ヒラメまつり」が行われました。

会場では、「佐渡の日」にちなんでヒラメ

丼やヒラメ寿司が310円で販売され、訪れた人たちは真野特産のヒラメに舌鼓を打っていました。

当日使用されたヒラメは豊田の栽培漁業センターで養殖されたもので、約200匹のヒラメがペロリと平らげられました。

また、海鮮焼きやそば等も販売され、まつりは大勢の家族連れでにぎわいました。



両 加茂湖カキまつり 津



3月19日(日)、今年で20回目となる「加茂湖カキまつり」が湊地区のおんでこドームで開催されました。

この催しは加茂湖産カキの消費拡大のための

PR活動として開催され、今年も新鮮なカキを求めて観光客や家族連れなど大勢の人で賑わいました。

特にカキの土手焼き、カキ飯、カキ汁のセットが食べられるコーナーは長蛇の列ができるほど大好評で、多くの人が冬の味覚を堪能していました。





畑野

第2回 畑野地区 市民芸能発表会



3月19日(日)、畑野農村環境改善センターにおいて第2回畑野地区市民芸能発表会が開催されました。

大正琴で幕

を開けたステージは、民謡・カラオケ・よさこい・詩吟など24演目が次々と発表され、のべ230人が日ごろの練習の成果を披露しました。

満員の会場からは惜しめない拍手が送られ、出演者たちも自分たちの出来に大満足の様子でした。



相川

伊東城ヶ崎高校が 初出場・初優勝!(はなが甲子園)

3月21日(火)から25日(土)にかけて、相川体育館を会場に、第6回全国高等学校版画選手権大会(はなが甲子園)本戦大会が行われました。佐渡代表の佐渡総合高校をはじめ14校が出場し、若いみずみずしい感性で佐渡を題材にした作品を作りあげました。どれも甲乙つけがたい作品の中、今回初出場の静岡県

立伊東城ヶ崎高校が優勝しました。



小木

『小木消防協力隊』結成!!

平成18年3月20日、あゆす会館において、平成17年度小木消防後援会総会が開催されました。後援会活動の目的は、「地域の安心と安全を守る」ため、日夜献身的な努力をされている消防団小木方面隊の活動を後援するため、地域住民から会費を募り運営されています。現在、結成から半世紀を過ぎ消防団活動を取り巻く状況に変革が生じています。団員の勤務形態等の変化により、初期消火初動体制に着手するまでの段階で、人員不足が懸念されています。そこで、小木地区における水火災の災害が発生した場合、被害の拡大防止を図るため、消防職団員を退職した方や以外の方で、ボランティアにより、活動する常備消防ならびに非常備消防の活動を支援する「小木消防協力隊」が結成されることとなりました。主な活動は交通整理で、初動活動が円滑に行われるよう補佐するものです。



後援会では、「小木消防協力隊」の結成を受け、装備品購入費を補助することを、総会の席上満場一致で承認し、発足に向けて期待を込めエールを送りました。

団結式は後日行われるとのことですが、常備消防や消防団「小木消防協力隊」の皆さんが、活躍することのない平穏な日々が続く事を期待したいと思います。

羽茂

「佐渡の思い出を胸に」 第20回羽茂自然学園修園式

年度末の3月23日(木)、カルトピアセンター素浜(長期山村留学施設)において第20回羽茂自然学園の修園式が行われました。

今年度の修園者は6人(中学生4人・小学生2人)。一年間、親元を離れ海と山に囲まれた環境での共同生活。大自然の中で様々な体験をした園生達は学園長から修園証を受取り堂々と感想を発表し、入園時よりすっかりたくましくなって佐渡を離れます。

園生のうち5人は佐渡を第2の「ふるさと」として海を渡ります。また、1人は第21期自然学園生として1年間かんばんます。

また、一年間子供達と寝食を共にし指導にあたった指導員(北海道出身・新潟県村上出身)2人も佐渡での貴重な経験を胸に新たな夢に向かって佐渡を離れます。

旅立つ者、見送る者様々な思いが交錯する修園式でした。



金井

「元気で帰ってこいよ」鮭の稚魚放流



鮭の稚魚の放流を通じて、自然の大切さを学ぼうと3月26日(日)に平清水と泉地区で構成する地域おこしグループ「平泉せいご宿」が主催する第10回鮭放流大会が開かれ、藤津川上流に稚魚1万匹を放流しました。

地域の子供達を中心に約90名の参加者は、「元気で帰ってきてね」と話しかけながらそおと川に放していました。

放流前に、『祝サケの旅立ち』と題して、「鮭は水の味や匂いを覚える。だから、水が汚れると帰ってくるできない。」

「鮭の子の身になって考えよう。」など、参加者にわかりやすく自然の大切さを呼び掛け、一匹でも多い鮭の遡上を願っていました。



佐和田

「新潟国体」に向けツツジを植樹

2009年に開催される「トキめき新潟国体」を美しい球場で迎えようと、軟式野球会場となる佐和田球場にツツジの苗木が植樹されました。これは佐渡花の島プロジェクト佐和田が「golfer緑化推進事業」の助成金で企画したもので、3月16日(木)地元佐和田中学校生徒約90人、佐渡高校野球部員約20人が造園業者から指導を受け、160本のツツジの苗木をレフトスタンド側のつつじヶ丘公園に植樹しました。

参加した生徒たちは、「ツツジが満開になるのが楽しみ」と、なれないながらも一生懸命作業に取り組んでいました。見頃となる5月上旬が楽しみです。



真野商工会女性部から
寄付

3月3日(金)、真野商工会女性部(中川敏子部長)から、2万円のご寄付をいただきました。これは、昨年10月9日(日)に行われた、「まのワクワクまつり」での売り上げの一部で、福祉関係に使うてもらいたいと、山本真野支所長に手渡しました。

山本支所長は、「皆さんの趣旨に賛同できるようなものに使わせていただきます。」とお礼を述べました。

平成18年度

緑の募金ご協力の

お願い

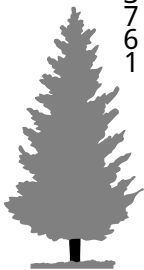
4月1日から5月31日までの期間は緑化推進月間です。今年も佐渡市一斉に「緑の募金」運動を展開します。つきましては、市民の皆様にも、家庭募金のご協力をお願いします。

皆様からいただいた緑の募金は、地域の緑化活動、国内外の森林整備、地球温暖化防止活動、森林ボランティアの育成等に活用されています。

問い合わせ先

農地林政課 林政係

☎ 63 3761



佐渡市行政改革大綱

および

集中改革プランの

策定について

平成17年度を起点とし、平成21年度までの5年間の行政改革の基本方針を定めた「佐渡市行政改革大綱」と大綱に基づき具体的な取組を集中的に実施するための計画を示した「佐渡市行政改革大綱実施計画(集中改革プラン)」を策定しました。今後、この計画書に基づき、市民との協働により佐渡市の行政改革に取り組んでいくものです。

当計画書については、佐渡市ホームページでご覧いただけます。その他閲覧方法等については、市役所行政改革課推進係 ☎ 63 5136(ま)でお問い合わせください。



* 戸籍の窓 *

2.21~3.20 届出

うぶごえ

地区名	大字名	氏名	保護者	たんじょう日
両津	両津大川	磯口 宇月(うづき)	茂紀	2.21
"	椿	佐嶋 賢翔(たかと)	彰	2.28
"	梅津	岩倉 勇斗(ゆうと)	清隆	3. 2
"	岩首	齋藤 将成(まさなり)	竜一	3.11
"	住吉	吉岡 秀悟(しゅうご)	裕	3.12
相川	相川紙屋町	坂下 凜(りん)	和樹	2.22
"	相川弥十郎町	樺澤 拓飛(たくと)	弘悦	2.24
"	高瀬	佐々木 郁実(いくみ)	貴範	2.25
"	達者	西野 善晴(よしはる)	博敬	3. 3
"	姫津	白瀬 夢(ゆめ)	忠文	3. 6
佐和田	河原田本町	本間 結(ゆい)	順一	2. 9
"	河原田諏訪町	渡邊 愛菜(あいな)	俊道	2.16
"	八幡	石井 彩女(あやめ)	京介	2.27
"	東大通	谷川 桃伽(ももか)	直樹	3. 3
"	中原	諸橋 孔明(こうめい)	康仁	3. 8
金井	中興	伊藤 叶江(かなえ)	慎二	2.12
"	千種	坂 真綾(まあや)	敏彦	2.13
"	"	下野 敦貴(あつき)	勲	2.22

金井	千種	本間 利希斗(りきと)	隆	3. 2
"	"	辻 向葵(あおい)	崇宏	3. 4
"	大和	木林 拓夢(たくむ)	一道	3. 5
"	千種	安保 蘭(らん)	滋	3.11
"	"	亀田 柚輝(ゆずき)	茂美	3.12
新穂	上新穂	本間 遥(はるか)	正寛	2. 8
畑野	宮川	渡邊 敦也(あつや)	芳晴	2.18
"	畑野	榎 愛華(あいか)	隆史	3. 9
真野	国分寺	中村 奈緒(なお)	克也	2.18
"	四日町	岡崎 真耶(まや)	雅彦	2.19
"	金丸	石塚 祈(いのり)	俊樹	3. 5
"	長石	高野 萌黄(もえぎ)	宏介	3. 6
小木	小木町	桃井 檀(だん)	晃	2.24
"	沢崎	計良 桜生(おうせい)	孝之	3. 6
"	犬神平	本間 智貴(ともき)	健一	3.10
羽茂	羽茂大石	高野 颯人(はやと)	靖弘	3. 7
赤泊	徳和	山田 颯矢(そうや)	嗣之	2.15
"	真浦	渡部 日世吏(ひより)	秀樹	2.22
"	赤泊	葛野 春花(はるか)	健	3. 2

おくやみ

地区名	大字名	氏名	年齢	ご命日
両津	両津湊	中村 勇士	68	2.23
"	"	北 壽美子	75	2.24
"	吾潟	富 櫻イ ツ	89	2.25
"	両津福浦二丁目	來田 輝夫	63	3. 1
"	羽吉	高江 工イ	91	3. 2
"	白瀬	内海 スミ	80	3. 5
"	浜田	渡邊 秀夫	84	3. 7
"	梅津	平野 シズエ	82	3. 8
"	河崎	池 喜美	85	3.10
"	浜田	白井 辰之進	85	3.11
"	浦川	渡邊 賢太郎	79	3.15
"	加茂歌代	平田 キク子	75	3.16
"	両津湊	伊藤 芳雄	75	3.18
"	歌見	石塚 ハツエ	79	3.18
相川	相川鹿伏	池田 博	76	2.22
"	小野見	斉藤 儀市	79	2.24
"	相川会津町	樋口 モト	85	3. 1
"	石花	石塚 ミヨ	83	3. 3
"	二見	古藤 尚幸	66	3. 6
"	相川柴町	金子 典	79	3. 6
"	相川小六町	清水 繁男	66	3.10
"	相川羽田村	杉山 徳次	75	3.12
"	相川柴町	原田 苛吉	81	3.14
"	橋	山本 源	69	3.18
"	相川羽田町	本間 明美	55	3.19
"	相川下戸村	河野 敏子	67	3.19
"	達者	池田 春雄	79	3.19
佐和田	上矢馳	佐々木 ヨシエ	85	2.20
"	沢根	本間 千工	78	2.27

佐和田	窪田	田端 与利男	73	2.28
"	八幡	若林 譲	80	3.13
"	河原田本町	村上 ツジ	79	3.13
"	上長木	齋藤 薫子	86	3.20
金井	貝塚	畑中 アヤ	90	3. 5
"	金井新保	兒玉 弘	70	3.14
"	水渡田	渡部 ヨネ	80	3.15
"	貝塚	大崎 ヒノミ	91	3.19
新穂	新穂北方	渡邊 進	87	3. 4
"	新穂大野	安田 キヨノ	79	3.20
畑野	畑野	小田 嘉一	73	2.21
"	栗野江	齋藤 勉	78	2.24
"	小倉	中村 英作	71	2.28
"	畑野	武安 テイ	87	3. 2
"	宮川	田中 信市	66	3. 4
"	畑野	内田 勝	42	3.16
"	丸山	菊池 豊治	93	3.19
"	小倉	猪股 久子	75	3.20
真野	豊田	本間のぶ	56	2.24
"	椿尾	安藤 菊枝	80	2.28
"	西三川	松井 忠一	90	3.12
"	真野	芳田 文子	85	3.13
"	真野新町	池 喜代治	75	3.16
小木	井坪	堀口 千代志	87	2.20
"	小木町	塚原 トシ	84	3. 9
羽茂	羽茂本郷	藤井 一男	39	3. 4
"	羽茂村山	宮内 千ヨ	90	3.10
"	羽茂大橋	海老名 久二	89	3.13
"	羽茂本郷	松風 一雄	84	3.17
赤泊	徳和	佐々木 功	82	2.20
"	赤泊	八木 ツルエ	81	3. 4

保護者やご遺族などの承諾を得て掲載しています。掲載について都合の悪い場合は市民課戸籍係へお申し出ください。なお敬称は省略します。



Tamara Gates タマラ・ゲイツ (カナダ)

カナダから来たタマラ・ゲイツです。佐渡で1年目の外国語補助教師(ALT)です。中学校を1校と複数の小学校を担当しています。

佐渡に来る時、私の訪日はこちらからのメッセージを伝える一方通行のような役割だと思っていました。特別な訓練を受けてきたわけではありませんでしたが、それでも丁寧にかつ目標を定めながら英語と西洋文化に関する自分の知識をみなさんにうまく伝えようと考えていました。でも佐渡で過ごしたこの8か月間には、自分が教えなければならぬ生徒たちからも同じくらいに自分自身が多くを教わっています。



当然のことですが、生徒たちは日本語や日本の文化について教えてくれます。いまでは数多く、日本での生活習慣を教

えてくれる大使の役割をしてくれました。日本の食卓でのマナー、折り紙、そして佐渡おけさも教わりました。時には、私がかつと日本語で話すように元気づけてくれたり、ドラえもんから相撲の話まで日本文化についての興味を広げてくれました。ですから、私は日本についてわからないことがあればよく生徒に聞くようになりました。

私は性格的には内気なところがありますが、彼らはそれらも克服するように元気づけてくれます。日本人も一般的には控え目な国民なのでなかなか難しい局面もあるとよく言われています。でもそれは日本人に限ったことではないと思っています。外国語を学習していると、最初はどうしてもためらいを感じたり、うまく通じるかどうかといった不安がありますよね。私自身も最初は、教員としての訓練・経験不足もあり尻込みしてしまいました。でもそんなときは、生徒たちがいつも助けてくれます。どういった授業の進め方がうまくいかをちゃんと教えてくれるんです。彼らもまた英語で話しかけてきてくれるので、私ももっと日本語を勉強して、そしてもっとうまく英語も教えなくちゃという気になるのです。



私はカナダの学校に戻って勉強を続けるため、今年の夏には本国に帰らなければなりません。佐渡の多くのみなさんにサヨナラをいう日が来るのが心苦しいですが、このALTの経験を生かしていきたいと思っています。自分が生徒たちから教わったことを将来につなげて、生涯この佐渡での思い出を大切にしていきたいと思います。



首都圏情報コーナー

本号から、首都圏の佐渡関連情報をお届けします。昨年5月に発足した佐渡市東京事務所がとりまじめを担当しています。首都圏での佐渡にかかわるさまざまなイベント、新しい動きなどをお伝えします。首都圏に住む佐渡出身者が佐渡をどのように思い、どうあつて欲しいか、そのころの一端を伝えられればと願っています。

首都圏には佐渡出身者が集まる任意のグループが旧市町村単位の郷土会、高校単位の同窓会、各種同好会などが多数あります。ここでは各郷土会の横断的組織として首都圏佐渡連合会が結成されており、その動きを中心に据えながら記事をとまとめていくこととします。

去る2月19日(日)に、首都圏佐渡連合会の第6回総会が東京・九段会館を会場に開催され、130名余りの参加を得て盛会となりました。池田会長から、「①一島市になつたことから郷土会の結束がより強くなつた②東京事務所が開設されたことにより、佐渡市との関係が強くなり、連合会の将来に向けての方向が定まってきた」とのあいさつがありました。また、来賓を代表して高野市長から、「①佐渡観光の現状を述べ、地域活性化の一環として開設した東京事務所が発信拠点として予想以上の効果を発揮していること②今年からいくつかの事業を立ち上げるが、つとして首都圏の佐渡出身者、その家族の里帰り計画を是非実施したい」とのあいさつがありました。総会の議事に引き続き、佐渡汽船戸田社長の講演、懇親会などで盛り上がりました。





5月28日開催! 参加者・ボランティア募集!

業務	内容	日程
エイドステーション (河原田、春日崎、入崎、岩谷口、はじき野、平沢、豊岡、赤泊、深浦の9箇所のいずれか)	飲食物の補充、スポンジ・水等の準備 (レースではありませんので、参加者は休憩しながら補給をします。直接手渡しはしません。)	5月28日(日)
本部スタッフ	受付、運営・進行等のお手伝い等	5月28日(日)
コース指示員	参加者へのコース指示	5月28日(日)
会場設営・道具	会場の設営、ゲートの設置、道具の引渡し等	5月27日(土) 28日(日)

申し込み・問い合わせ

2006 スポニチ佐渡ロングライド事務局

〒952-1314 佐渡市河原田本町394 TEL 57-2722 FAX 57-2755
http://www.sadolongride.com (公式ホームページ)

参加者も募集中!!

脚力に合わせて
走れる
全4コース

コース名	制限時間	参加費
A 佐渡一周210kmコース	16:00 までに深浦AS通過 18:00 までにゴール	7,000円
B 岩谷口折り返し110kmコース	10:00 までに岩谷口AS折り返し 13:30 までにゴール	5,000円
C 入川折り返し80kmコース	9:30 までに入崎AS折り返し 12:30 までにゴール	4,000円
D 春日崎折り返し36kmコース	9:00 までに春日崎AS折り返し 11:00 までにゴール	3,000円

開催日時 / 5月27日(土)午後・参加受付、夕方・前夜祭
5月28日(日)6時~18時
各コース走行(制限時間あり)
スタート・ゴール / 全コースとも佐渡市河原田
参加資格 / 小学生以上(小学生は要保護者同伴)
車両規定 / 小径車・リカンベントを含む公道を走れる自転車
(DHバー装着禁止、ヘルメット着用)
参加費 / 消費税と傷害保険料を含む(小学生は半額)
抽選会 / 前夜祭で、協賛各社提供の商品を抽選でプレゼント

参加申し込み方法

- 申し込み先 / ◎スポーツエントリー(インターネット)
http://www.sportsentry.ne.jp
◎大会事務局(参加申込書+現金または現金書留)
◎大会事務局 / 平成18年2月1(水)~5月10日(水)
- 申し込み期間 / 平成18年2月1(水)~5月10日(水)
- 変更・取り消し / 申込み後のコース変更、取り消しはできません。荒天による大会中止の場合、参加費の返金はいたしませんのでご了承下さい。
- 損害保険 / 参加者全員に対して損害保険に加入します。詳しくは保険約款によります。

新型タンク車導入

このたび、佐渡市中央消防署へ消防ポンプ付水槽車が配備されました。

この車両は、自動揚水装置を備えたポンプ自動車に5000リットルのステンレス製水槽を装備したもので、火災現場到着直後は防火水槽等の水利に頼ることなく、迅速かつ確実な消火体制をとることができます。

また、水損防止・再燃防止を目的に自動泡混合装置を備え、積載している5000リットルの水を有効に活用することができます。さらに災害時には給水車として使用できるよう水道用カランを装備した車両です。



市の花
カンゾウ



市の木
アテビ



市の鳥
トキ



市の魚
ブリ



市の面積855.10km²(平成16年10月1日) 市の海岸線281.7km(平成16年3月31日)